

## パーフルオロオクタン酸(PFOA)に係る水質調査結果等について

平成20年11月19日(水曜日)

代表連絡先	環境管理室 化学物質対策グループ ダイヤルイン番号 06-6944-9248 メールアドレス <a href="mailto:kankyokanri-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp">kankyokanri-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp</a>
-------	--

昨年度実施した大阪府域の河川・地下水におけるパーフルオロオクタン酸(PFOA)濃度実態把握調査で高濃度を検出した調査地点等において、本年10月に本府と大阪府が共同で実施した水質調査の結果をとりまとめましたので、お知らせします。

河川・地下水とも低減傾向にあります。

### 1. 調査方法

- (1)調査地点 河川5地点及び地下水2地点 計7地点(別図1)
- (2)調査期間 平成20年10月9日(木)(試料採取日)
- (3)調査機関  
大阪府 4地点 [河川1・2(安威川)、地下水6・7]  
大阪市 3地点 [河川3～5(神崎川)]
- (4)分析項目 PFOA

### 2. 調査結果(別表1)

#### (1)河川

##### ① 安威川

- 昨年度の調査の結果、安威川のPFOA濃度に影響を与えていると考えられた、安威川流域下水道中央水みらいセンターの放流地点でのPFOA濃度は700ng/Lであり、昨年度の調査結果1,000～1,400ng/Lより低下していました。
- 下流の新京阪橋では490ng/Lと、昨年度の600ng/Lよりも低下していました。

##### ② 神崎川

- 小松橋では220ng/Lと昨年度の530ng/Lより低下していましたが、吹田橋、新三国橋は昨年度より少し高い濃度でした。

#### (2)地下水

- 摂津市内の2地点で測定しましたが、地点6では昨年の26,000 ng/Lが18,000 ng/Lに、地点7は同じく39,000 ng/Lが23,000 ng/Lに低下していました。

### 3. フッ素樹脂メーカーの削減取り組みについて

- 本調査の調査地点近隣に所在するフッ素樹脂メーカーでは、米国環境保護庁(EPA)の「PFOA管理計画」に基づき、PFOAを2009年までに2000年比95%削減、2012年までに全廃することを目標とする自主的な取り組みを進めています。大阪府に報告された2006年、2007年における削減率は次のとおりで、PFOA排出量、製品中の含有量ともに着実に取り組みが進んでおり、目標を達成できる見込みです。

PFOA排出量(PFOA[kg]／フッ素樹脂生産量[ton])

2000年:2.7

2006年:0.49 ⇒ 削減率(対2000年比)82%

2007年:0.30 ⇒ 削減率(対2000年比)89%

製品中のPFOA含有量(フッ素樹脂分散液について)

2000年:2000ppm

2006年:480ppm ⇒ 削減率(対2000年比)76%

2007年:80ppm ⇒ 削減率(対2000年比)96%

### 4. まとめ

- 今年度の調査結果では、河川・地下水中のPFOA濃度はともに低減傾向にありますが、今後ともモニタリングを実施し、PFOA濃度の低減を確認していきます。

- 1 フッ素樹脂メーカーの「PFOA管理計画」に基づくPFOA削減の取組みは順調に進んでいます  
が、今後もその進捗状況について、随時、把握していきます。

《参考》

PFOA(パーフルオロオクタン酸)について

- 1 ふっ素を含む有機化合物の一種。動物実験で肝臓毒性や発達への影響、発がんとの関連などが指摘されているが、人体への毒性は明らかになっていません。
- 1 極めて安定な化合物であるため、環境中で分解されにくく、人間の血液中や野生生物からも検出されています。
- 1 ふっ素樹脂製造時の反応の補助剤として使用されるため、ふっ素樹脂製造工場の排水に含まれるほか、製品(ふっ素樹脂加工に用いられる液)に不純物として含まれています。  
※ふっ素樹脂の用途 …フライパン・炊飯ジャー等のコーティング、配管チューブなど
- 1 世界のふっ素樹脂メーカー8社は、2006年、米国環境保護庁(EPA)との間で環境への排出削減と製品中の含有量の低減に自主的に取組む「PFOA管理計画」に合意しました。この計画では、PFOAの排出量及び製品中の含有量を、2010年までに95%削減(対2000年比)し、2015年までに全廃することを目標とする自主的取組を進めることになっています。  
「PFOA管理計画」は、世界的な自主的取組であり、国内のふっ素樹脂メーカー3社も、この計画に参加して同様の取組を進めています。なお、当該ふっ素樹脂メーカーは2010年の目標を1年早めて2009年には95%削減し、2015年の目標を3年前倒して2012年にはPFOAを全廃することとしています。

---

添付資料

[\(別図1\)PFOAモニタリング調査地点図\(PDF形式 19KB\)](#)

[\(別表1\)PFOAモニタリング調査結果\(PDF形式 10KB\)](#)